



Handwritten text in cursive script, likely a list or account, starting with a vertical line and a small mark.

Handwritten characters, possibly a date or a specific entry marker.

Handwritten characters, possibly a name or a specific entry marker.

Handwritten characters, possibly a name or a specific entry marker.

Handwritten characters, possibly a name or a specific entry marker.

Handwritten characters, possibly a name or a specific entry marker.

Handwritten characters, possibly a name or a specific entry marker.

Handwritten text in cursive script, continuing the list or account.

Handwritten text in cursive script, likely a list or account, starting with a vertical line and a small mark.

Handwritten characters, possibly a date or a specific entry marker.

Handwritten text in cursive script, continuing the list or account.

Handwritten text in cursive script, likely a continuation of a letter or document. The characters are dense and fluid, typical of the 'sōsho' style.

Handwritten text in cursive script, continuing the previous page. The ink is dark and the strokes are well-defined.

Handwritten text in cursive script, continuing the previous page. The text is written in a consistent, flowing hand.

Handwritten characters, possibly a signature or a specific mark, located between two columns of text.

Handwritten text in cursive script, continuing the previous page. The text is written in a consistent, flowing hand.

Handwritten text in cursive script, likely a letter or document, written on the right page of the manuscript. The text is dense and flows across the page in a single column.

Handwritten text in cursive script, likely a letter or document, written on the left page of the manuscript. The text is dense and flows across the page in a single column.

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a page from a manuscript. The text is written in a fluid, connected style across approximately 12 lines.

Handwritten text, possibly a signature or a specific heading, located in the upper middle section of the page.

Handwritten text in a cursive script, continuing the text from the previous page. It is written in a fluid, connected style across approximately 12 lines.

Handwritten text in cursive script, likely a letter or document, covering the right page of the manuscript.

Handwritten text in cursive script, likely a letter or document, covering the left page of the manuscript.

江村之山

江村之山

江村之山

江村之山

江村之山

江村之山

江村之山

江村之山

江村之山

江村之山

江村之山

江村之山

江村之山

江村之山

江村之山

江村之山

江村之山

しんぎ

清経はらへりて千九百

百九

田原新丁
井原新丁
一清如雲
一清要人
三清如水

田中五郎
北原内丸

少永采女
西原采女
上田采女

大田采女
上田采女

三日月

清経はらへりて千九百
百九

三行山止

田中寺後及
神降白丸及
少寺 糸女及
西今家及
是神降及
上田寺及

此代古寺後之日久所住寺寺通之海寺
ありては是也

所結山寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺

寺寺寺

此山別山寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺
所結山寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺
所結山寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺

寺寺寺

以我於世... 商... 不... 務... 遂...
仁... 中... 不... 幸... 乃... 正...
法... 子... 知... 不... 中... 物... 第... 攝... 遂... 幸... 乃... 正...

三月八日

內... 年... 的...
好... 處... 名...
一... 如... 情...
一... 要... 人...
言... 獨... 亦... 記...

田中 山 休 皮

神原 内務卿
小原 宗女氏
西原 勇右氏
菅生 権三氏
上田 宗吉氏

三月廿五日 海軍省 行札略
海軍省 行札 略
海軍省 行札 略
海軍省 行札 略
海軍省 行札 略
海軍省 行札 略
海軍省 行札 略
海軍省 行札 略
海軍省 行札 略
海軍省 行札 略

海軍省

相河邊上海海石 作月夜白雲如波如公

作月夜白雲

以中代中事名門家名虎之陽陽之如列代事

事一過也

作如之海海石 作月夜白雲如波如公

作如之海海石

作如之海海石 作月夜白雲如波如公

作如之海海石

日月

日月

少事 少事女
那保田那那
田中 古佐

言所為那那
山所也那那
一那那那
一那那那
开那那那
肉及也那那

皇那那那
上田那那

卷之二

一 安及為集言 形通 祥海 佛有 佛心 一著

一 無形 凡物 皆有 佛性 一著

一 法界 在 多 介 福 凡 法 皆 佛 性 一著

一 法 界 在 多 介 福 凡 法 皆 佛 性 一著

一 法 界 在 多 介 福 凡 法 皆 佛 性 一著

一 法 界 在 多 介 福 凡 法 皆 佛 性 一著

一 法 界 在 多 介 福 凡 法 皆 佛 性 一著

一 法 界 在 多 介 福 凡 法 皆 佛 性 一著

以... 野村... 始... 我...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

初之隱居常平矣林代信然云乃亦推之曰

此後內包於中矣云

以子代。中事古。及後。口信者。右田。第。及。八。身。
死。海。有。曾。古。路。意。何。路。之。常。中。事。口。信。者。後。
海。有。身。曾。古。路。意。何。路。之。常。中。事。口。信。者。後。
中。事。古。及。後。口。信。者。右。田。第。及。八。身。
と。中。事。古。及。後。口。信。者。右。田。第。及。八。身。
海。有。身。曾。古。路。意。何。路。之。常。中。事。口。信。者。後。

四月

西川曾古路

世系
世系
四年 上佐

言
山
一
井
肉
其

上田

大宛中より送られたる書状に云く

二月十日に宛てられたる書状に云く

大宛中より送られたる書状に云く
大宛中より送られたる書状に云く
大宛中より送られたる書状に云く

二月十日

紙に手札の書状に云く
大宛中より送られたる書状に云く
大宛中より送られたる書状に云く

江ノ東ノ昔々在ル事也

去十二月九日の事也

江ノ東ノ昔々在ル事也

去十二月九日の事也

一

江ノ東ノ昔々在ル事也

去十二月九日の事也

江ノ東ノ昔々在ル事也

去十二月九日の事也

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

正日

多

西
少
社
田

山
一
一
井
四
是
上

卷之三

四月

西人常存志
小尔来女
神保内花所
田中一古依

多和 印纸皮
山崎 小嶋皮
一浪 要人皮
一浪 物主皮

并源 益全皮
内友 正一皮
菅原 柱全皮
上田 守全皮

月

白江田在

少田 田

田中 古

田中 古

多田 田

山崎 田

一田 田

一田 田

田 田

田 田

田 田

田 田

山崎

西郡 菅原
小原 宗女
神保 内子
田中 七佐

山崎 水江

山崎 水江

山崎 水江

山崎 水江

山崎 水江

山崎 水江

山崎 水江

山崎 水江

方一為去三舟五我中按三西里一之全
以心我欲習也一而不知何者有之也
任事之廣一五我多拙一而一治一之理一也
法不知一之也一之也一之也一之也
法法之全

二日

肉者 平一也
甘者 為苦乃
一德 為苦乃
一德 要人

山橋 少如
高橋 卯純

三月十日 海江分札
田中 上佐
神保 内務
小原 宗也
西川 勇吉
菅原 権吉
上田 宗吉

改訂 海江分札
海江分札
四月 卯

井内屋方
一階中
一階要人
多持水

田中 土佐屋
北江 田元屋
少 糸屋
西 糸屋
是 土佐屋

上田 土佐屋

南 糸屋
北 糸屋
東 糸屋
西 糸屋

北 糸屋

三月十日

北 糸屋
北 糸屋

北 糸屋

心月字

程子為書三冊其山

一程明道之書乃為書其書中之書乃為書其書中之書

程明道曰至孝是孝之至也

以子及為孝其孝不同也

程明道曰至孝是孝之至也

程明道曰至孝是孝之至也

程明道曰

二

曰若出也

其深及也

一則其也

經之義書四冊者以爲
以子及至終身之學不同而亦一脈云
長年廣之別及多事通上長生之長都片淡
御書之義書四冊者以爲
御書之義書四冊者以爲

二頁九分

內容 出和
一 源 義書
一 源 義書
一 源 義書
一 源 義書

素同者之廉
冲之...
冲之...
冲之...

田中工休反
瑞保内...
少系...
西...
上...
上...

三月...

我初列我...
我初列我...
我初列我...

冲之...

但...
但...
但...

三月...

五年
御用

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

五〇

五〇

五平

白
三平山月記

三平山月記

三平山月記

三平山月記

三平山月記

三平山月記

三平山月記

三平山月記

三平山月記

三平山月記

三平山月記

五言

江月夜

引我美心年恒老

少年中事苦余如雁去以形最况境况
 暮年亦以道途多事如海之量况以形中如
 百有言言何能如水也一以言以形中如也
 多能如也中如也言言如也人言言言
 多能如也中如也言言如也人言言言
 通海十有言言言言言言言言言言言言
 一月言言言言言言言言言言言言言言
 言言言言言言言言言言言言言言言言

四月

言言言言言言

一

二月

三月

四月

五月

六月

七月

八月

一 廿六夜者... 廿七日... 廿八日... 廿九日... 三十日... 三十一日... 一 廿六夜者... 廿七日... 廿八日... 廿九日... 三十日... 三十一日...

貴人ノ御書ニ奉答スルニ

三月廿

御書ニ奉答ス

田中一右衛門

封書

沖田名簿

平海一右衛門

田中一右衛門

三月廿

此封状は御用ニ奉答スルニ
御書ニ奉答スルニ
御書ニ奉答スルニ
御書ニ奉答スルニ

三月廿

平人目録

中判書人

海村一右衛門

平海一右衛門

三月廿

御書ニ奉答ス

三月廿

御書ニ奉答スルニ
御書ニ奉答スルニ
御書ニ奉答スルニ
御書ニ奉答スルニ

少之... 所... 影...

中... 二... 所... 天...

夫... 夫... 影... 影...

少... 少... 少... 少...

少... 少... 少... 少...

飛...

少... 少... 少... 少...

如く上之水は陸路の舟
を操るは通る

舟上者も下は舟下にあつた

けりて下は舟の一様

舟の事を知るは舟の事を知る

舟の事を知るは舟の事を知る

舟の事を知るは舟の事を知る

舟の事を知るは舟の事を知る

舟の事を知るは舟の事を知る

舟の事を知るは舟の事を知る

舟の事を知るは舟の事を知る

舟の事を知るは舟の事を知る

舟の事を知るは舟の事を知る

舟の事を知るは舟の事を知る

舟の事を知るは舟の事を知る

舟の事を知るは舟の事を知る

舟の事を知るは舟の事を知る

舟の事を知るは舟の事を知る

市下屋下子少一曰於之有者早死即而此と云々
此等と云計

但此等と云於の中於之者早死と梅凡と云々
此等と云存一於此如中於此也於之於此等
と云二白右等と云此等と云中於之於此等と云
来

四月

市之取之義と云

日月の二と云取之義と云礼人江々々々礼

此等と云礼と云取之義と云礼人江々々々礼

此等と云取之義と云礼人江々々々礼

と云

此等と云取之義と云礼人江々々々礼

此等と云取之義と云礼人江々々々礼

此等と云取之義と云礼人江々々々礼

と云

清沙之... 後... 第一... 形... 今... 如... 小... 三...
清沙之... 後... 第一... 形... 今... 如... 小... 三...
清沙之... 後... 第一... 形... 今... 如... 小... 三...
清沙之... 後... 第一... 形... 今... 如... 小... 三...
清沙之... 後... 第一... 形... 今... 如... 小... 三...
清沙之... 後... 第一... 形... 今... 如... 小... 三...
清沙之... 後... 第一... 形... 今... 如... 小... 三...
清沙之... 後... 第一... 形... 今... 如... 小... 三...
清沙之... 後... 第一... 形... 今... 如... 小... 三...
清沙之... 後... 第一... 形... 今... 如... 小... 三...

...

清沙之...

...

程由文以則多矣其有河運之修及治海
多而民口與自修及治海之方與否
服力如故也

以是代設也其本始者為始列我第

第(一)通也

作也其始也(一)始也(一)通也

即其始也(一)始也(一)通也

其始也(一)始也(一)通也

二月十日

周友

御社之由云々

御社之由云々

近江守

日月

御社之由云々

御社之由云々

御社之由云々

御社之由云々

御社之由云々

御社之由云々

御社之由云々

御社之由云々

御社之由云々

上通古事の如く此の御書は序は世なり云々也

一 古語の中古語信古語 以通古事 古語の如く云々也

古事成るといふは古語の如く云々也

古事信古語の如く云々也

古事信古語の如く云々也

古事信古語の如く云々也

古事信古語の如く云々也

古事信古語の如く云々也

一 古事信古語の如く云々也 古事信古語の如く云々也

古事信古語の如く云々也

古事信古語の如く云々也

古事信古語の如く云々也

古事信古語の如く云々也

古事信古語の如く云々也

古事信古語の如く云々也

古事信古語の如く云々也

古事信古語の如く云々也

古事信古語の如く云々也

得此書者請早賜教
弟等由來學子皆能
此書之理

例

此書之理
此書之理
此書之理
此書之理

一
此書之理
此書之理
此書之理
此書之理

此書之理
此書之理
此書之理
此書之理
此書之理
此書之理
此書之理
此書之理
此書之理
此書之理

後村子其祀設為祭也
其通也其祀也其祀也
其祀也其祀也其祀也
其祀也其祀也其祀也
其祀也其祀也其祀也

